東海環状自動車道（西回り） 各区間の状況

区間	延長	主な状況	備　考
関広見IC ～ 山県IC	9.0km	【工事】 改良工事、舗装工事、施設工事を推進中	2019年度 開通予定
山県IC ～ （岐阜IC）	6.1km	【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中 岐阜山県第一TN工事を推進中	2024年度 開通見通し
（岐阜IC） ～ （糸貫IC）	5.6km	【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中	
（糸貫IC） ～ 大野神戸IC	6.8km	【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中	
大野神戸IC ～ 大垣西IC	7.6km	2019年12月14日開通	
大垣西IC ～ 養老JCT	6.0km	2012年9月15日開通	
養老JCT ～ 養老IC	3.1km	2017年10月22日開通	
養老IC ～ （北勢IC）	18.0km 岐阜県区間9.0km 三重県区間9.0km	【用地】 用地取得中 【調査】 埋蔵文化財調査、橋梁詳細設計を推進中 【工事】 橋梁下部工事、改良工事を推進中	
（北勢IC） ～ 大安IC	6.6km	【用地】 用地取得中 【工事】 橋梁下部工事を推進中	2024年度 ※1 開通見通し
大安IC ～ 東員IC	6.4km	2019年3月17日開通	
東員IC ～ 新四日市JCT	1.4km	2016年8月11日開通	

【延長】未開通：国土交通省の事業計画延長による　開通済：中日本高速道路(株)の管理延長による

※1：用地取得等が順調な場合

＜トピックス＞

■大野神戸IC～大垣西IC　開通

2019年12月14日（土）、東海環状自動車道　大野神戸IC～大垣西IC間が開通しました。国会議員、県議会議員、首長など、約450人の出席のもと、開通式典及びセレモニーが開催されました。

■岐阜三輪スマートインターチェンジ　名称決定

2019年12月25日（水）、東海環状自動車道　岐阜三輪PAに接続するスマートICの名称が、岐阜三輪スマートインターチェンジに決定しました。（岐阜市、中日本高速道路株式会社名古屋支社の記者発表より）

東海環状自動車道

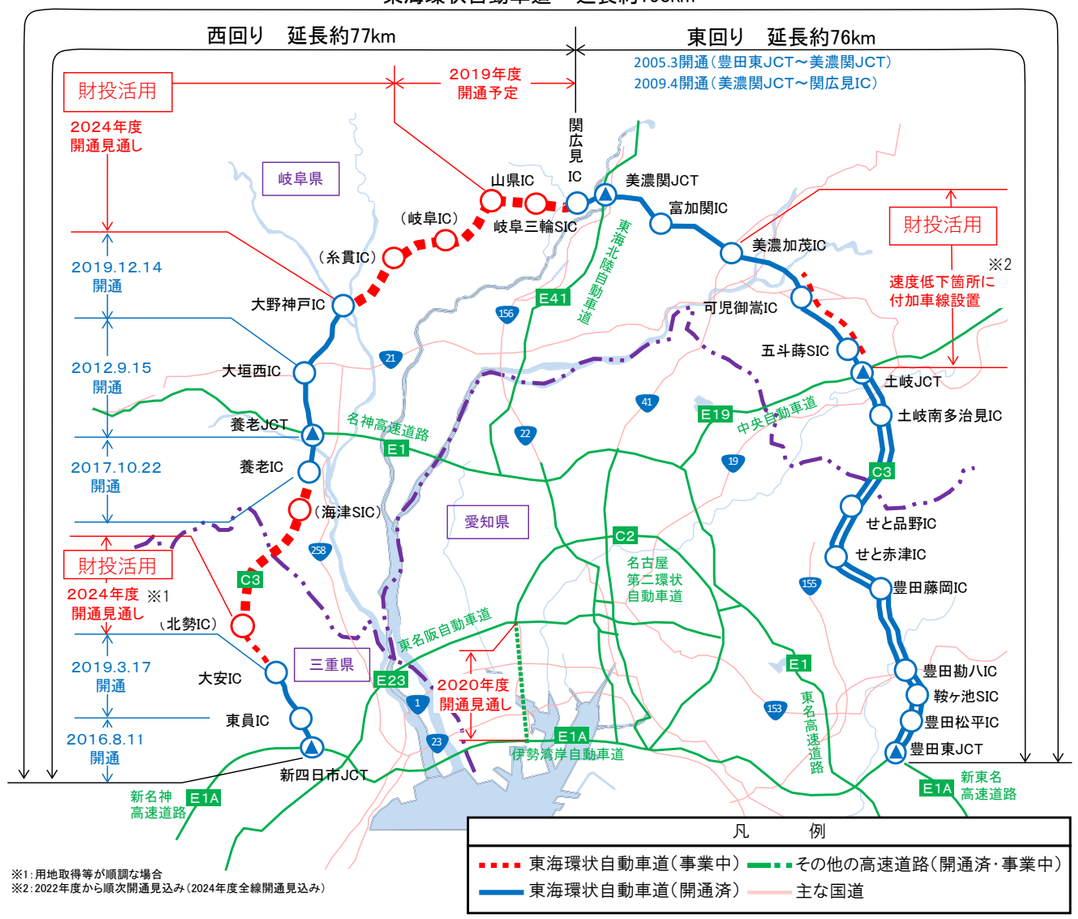
ダイジェスト版
2019年 12月25日

■事業目的

国道475号 東海環状自動車道は、愛知県豊田市を起点とし、愛知県瀬戸市、岐阜県岐阜市及び大垣市等の主要都市を経て三重県四日市市に至る延長約153kmの高規格幹線道路（一般国道の自動車専用道路）です。

本事業は、中京圏の放射状道路ネットワークを環状道路で結び、広域ネットワークを構築することで、環状道路内の渋滞緩和、沿線地域の地域産業・観光産業の支援、災害に強い道路機能の確保に寄与します。

東海環状自動車道　延長約153km



※1：用地取得等が順調な場合
※2：2022年度から順次開通見込み（2024年度全線開通見込み）

（ ）書きのIC名称は仮称

愛称「MAGロード」
三重県の頭文字である「M」、同じく愛知県の「A」、岐阜県「G」を組み合わせて「MAGロード」と命名されました。マグネット（磁石）のように、それぞれの地域を引きつける道路という意味も込められています。

国土交通省　中部地方整備局
岐阜国道事務所・北勢国道事務所

岐阜国道事務所 公式インスタグラム（QRコード）
北勢国道事務所 公式Twitter（QRコード）

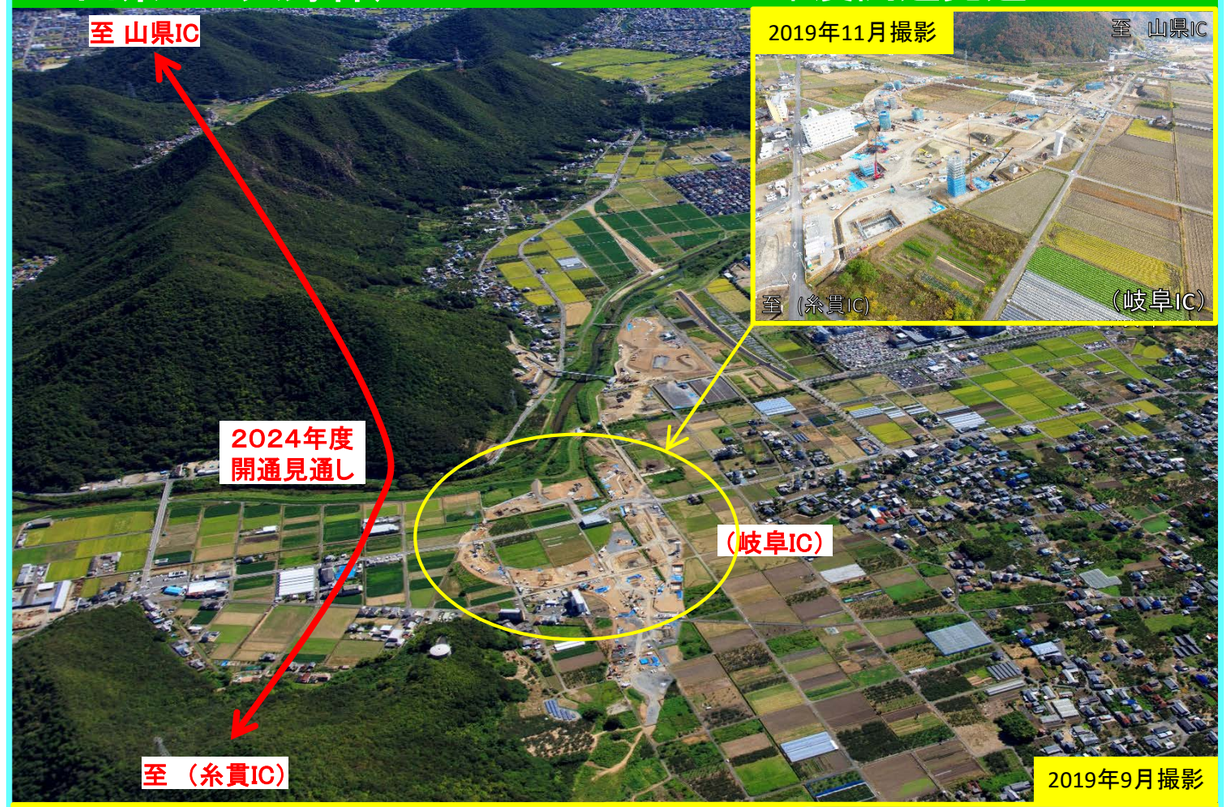
東海環状自動車道（西回り）現場状況

ダイジェスト版
2019年 12月25日

■関広見IC～山県IC　2019年度開通予定

養老IC～（北勢IC）

■山県IC～大野神戸IC　2024年度開通見通し



■（北勢IC）～大安IC　2024年度開通見通し